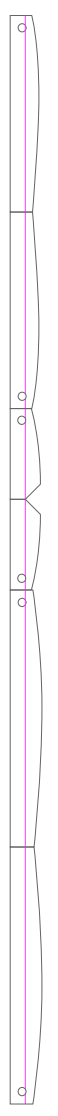


右手投げ（右利き）の方はこのページの図面を使用して下さい

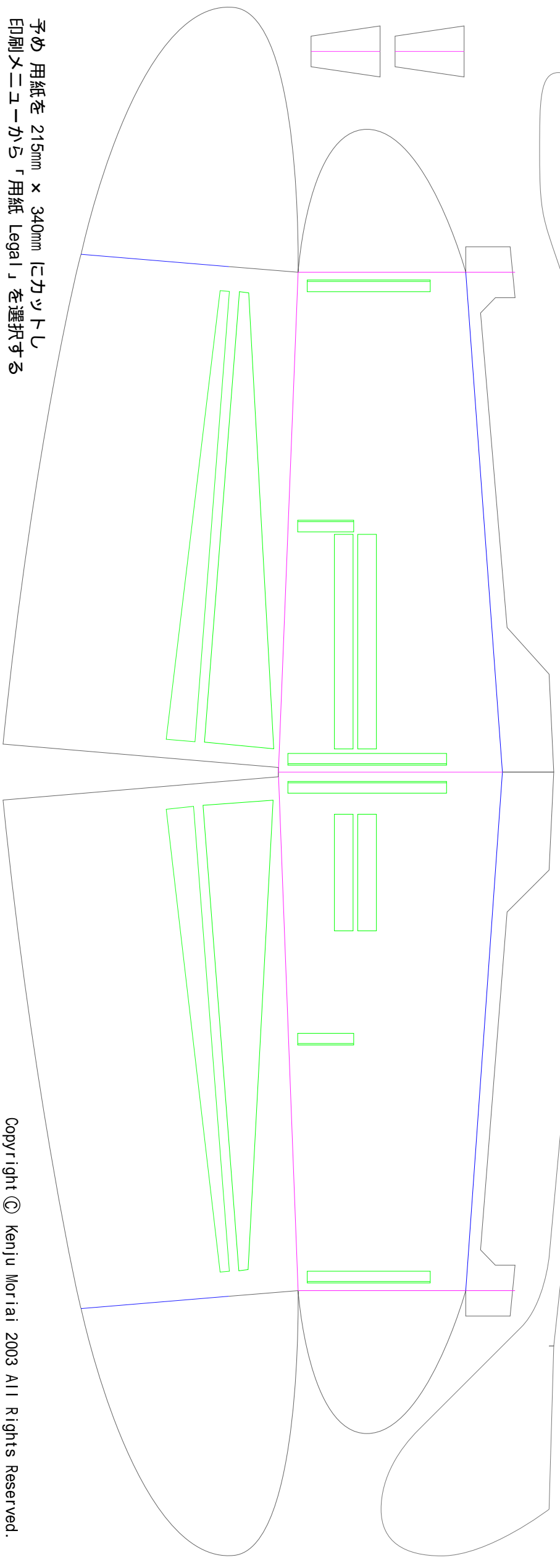
このピンクラインは45°に谷折り

180K (#200)

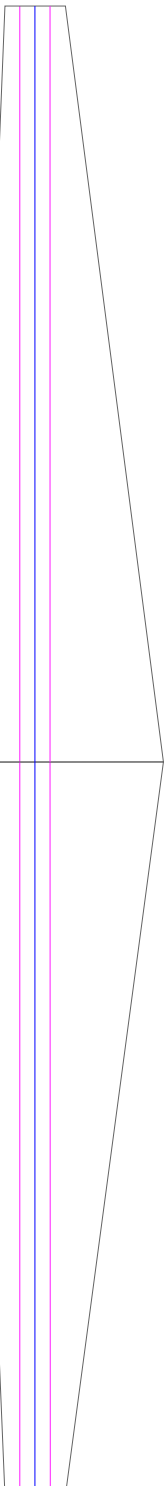


— 重心
— カット

— 山折り
— 谷折り
— 貼り合わせ位置



予め用紙を 215mm x 340mm にカットし
印刷メニューから「用紙 Legal」を選択する



— 重心
— カット

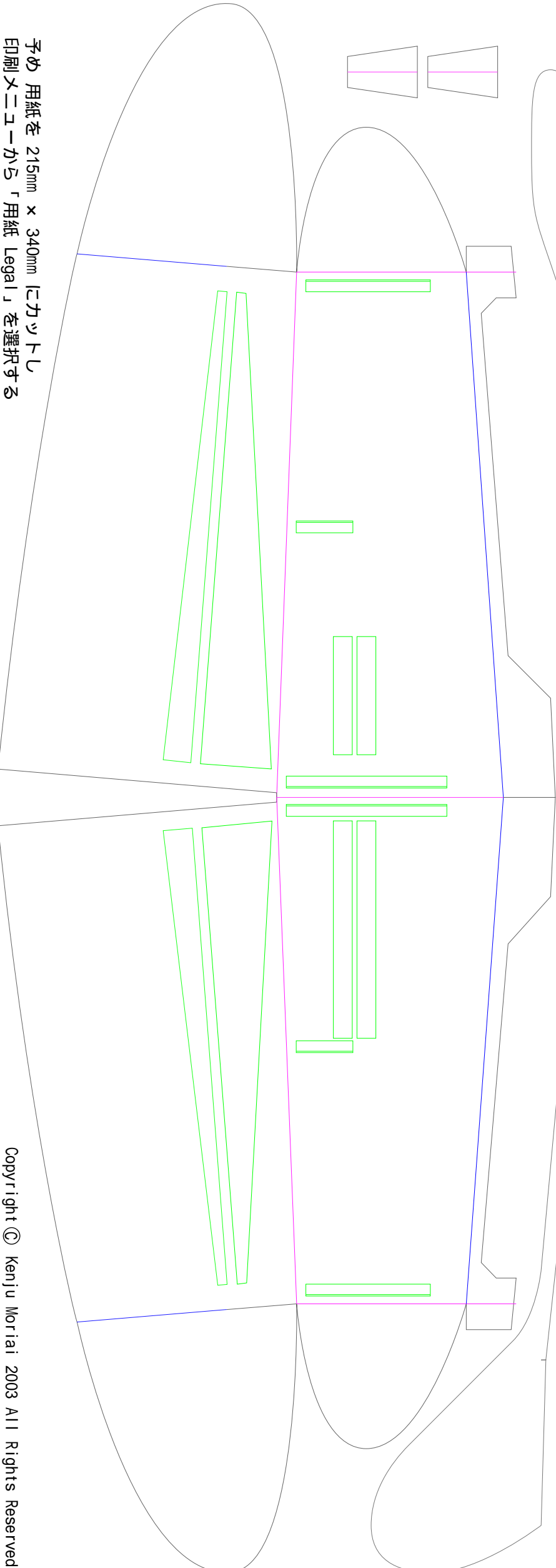
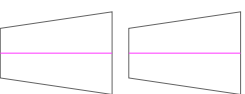
左手投げ（左利き）の方はこのページの図面を使用して下さい

このピンクラインは45° に谷折り

180k (#200)

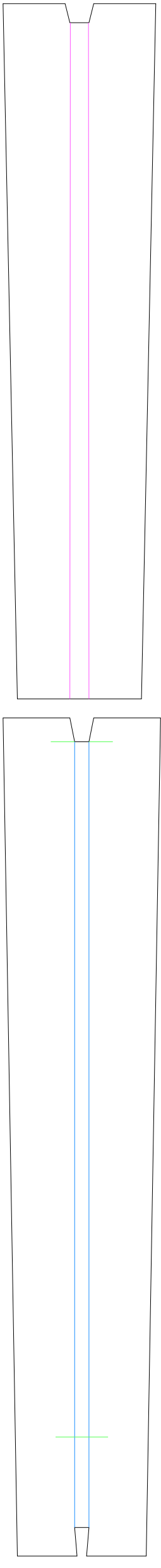
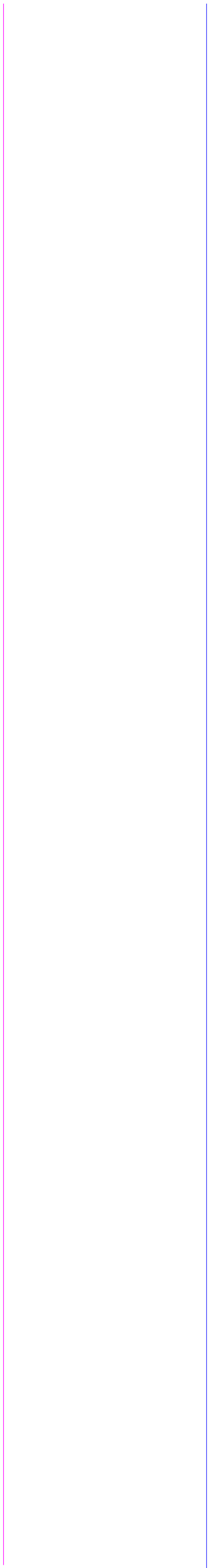
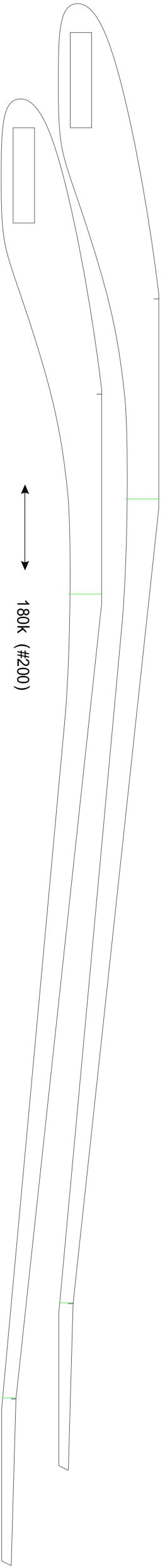


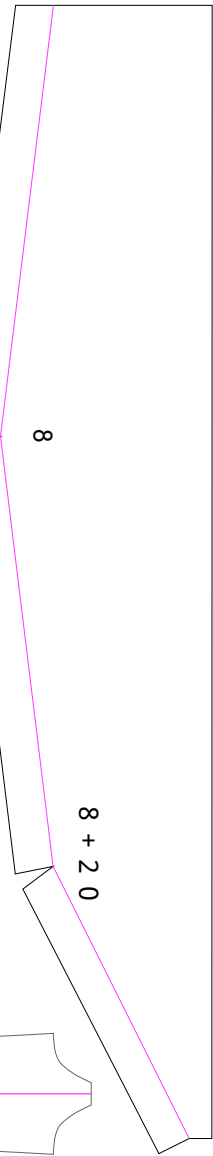
— 山折り
— 谷折り
— 貼り合わせ位置



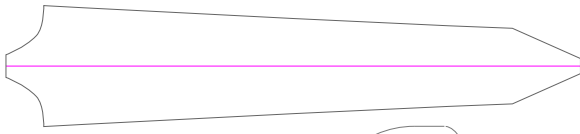
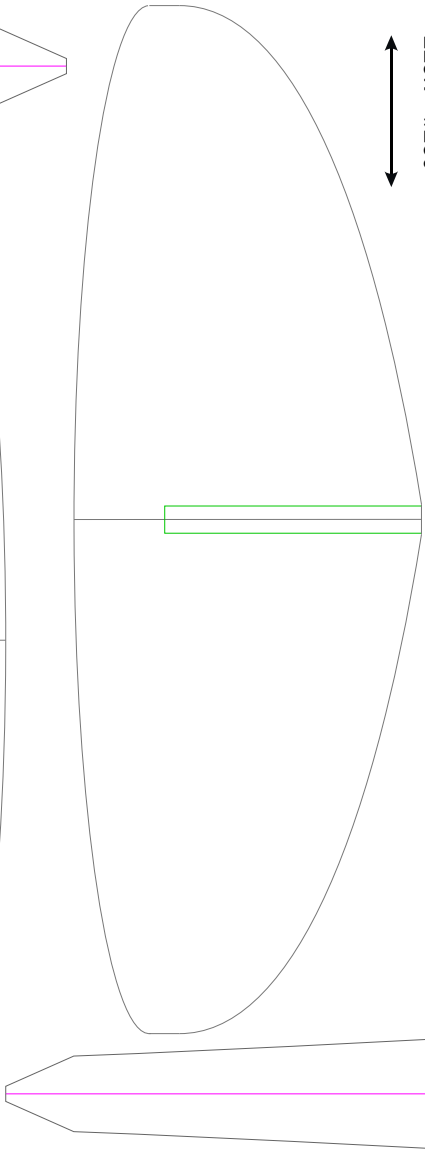
予め用紙を 215mm x 340mm にカットし
印刷メニューから「用紙 Legal」を選択する

Copyright © Kenju Moriai 2003 All Rights Reserved.

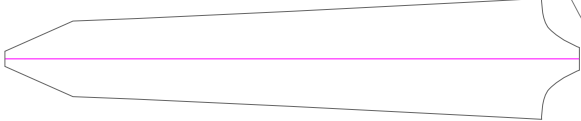
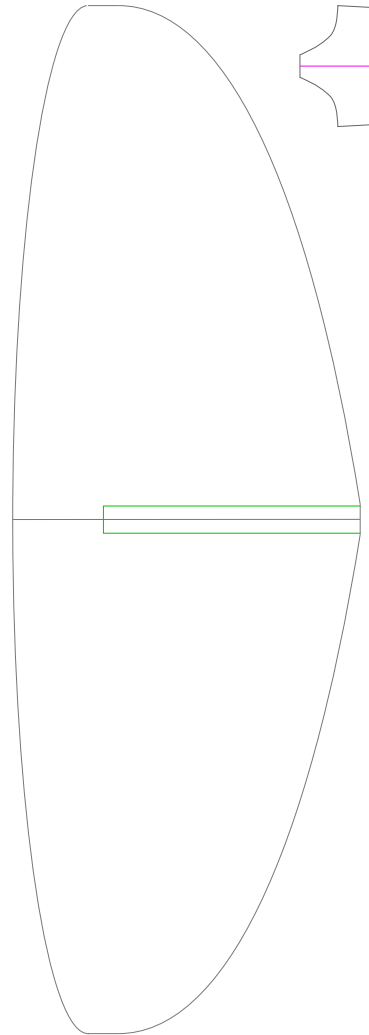
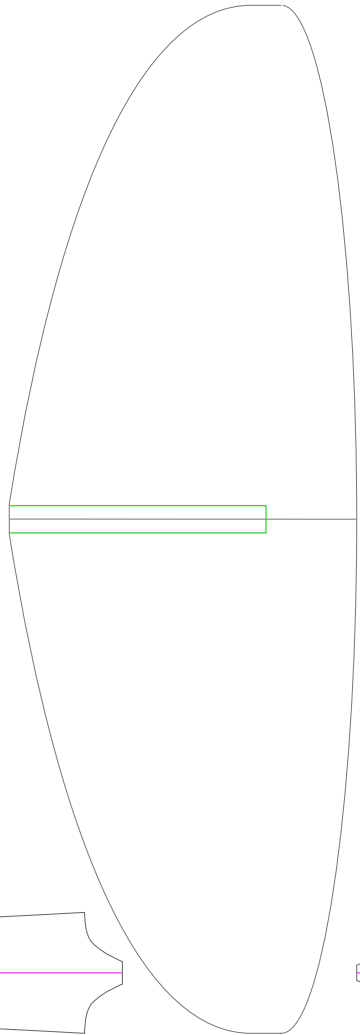




225k #250

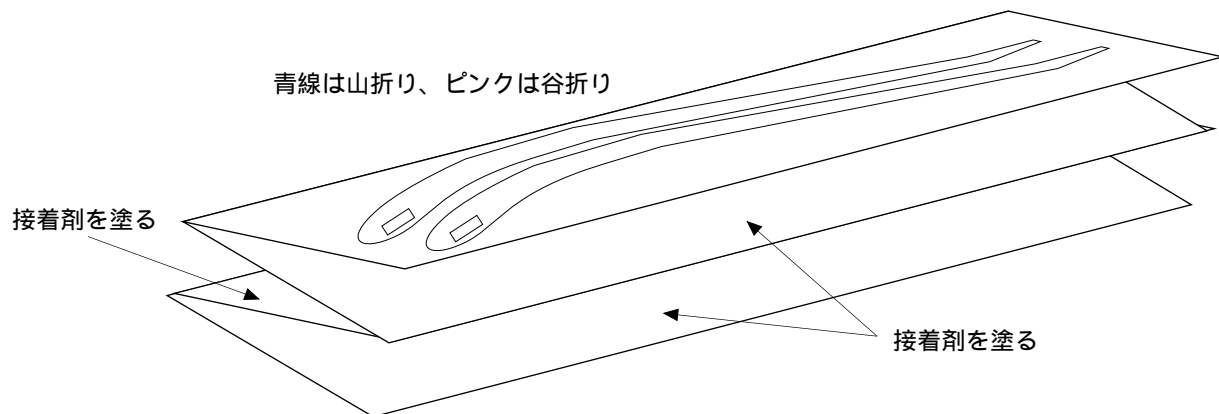


水平尾翼、主翼補強 三機ぶん



注、右手投げ（右利き）の方は1頁の図面を、左手投げ（左利き）の方は2頁の図面をご使用下さい。
主翼部品の左右スパン（翼幅）がわずかに異なります。

3頁以降の図面は共通です。



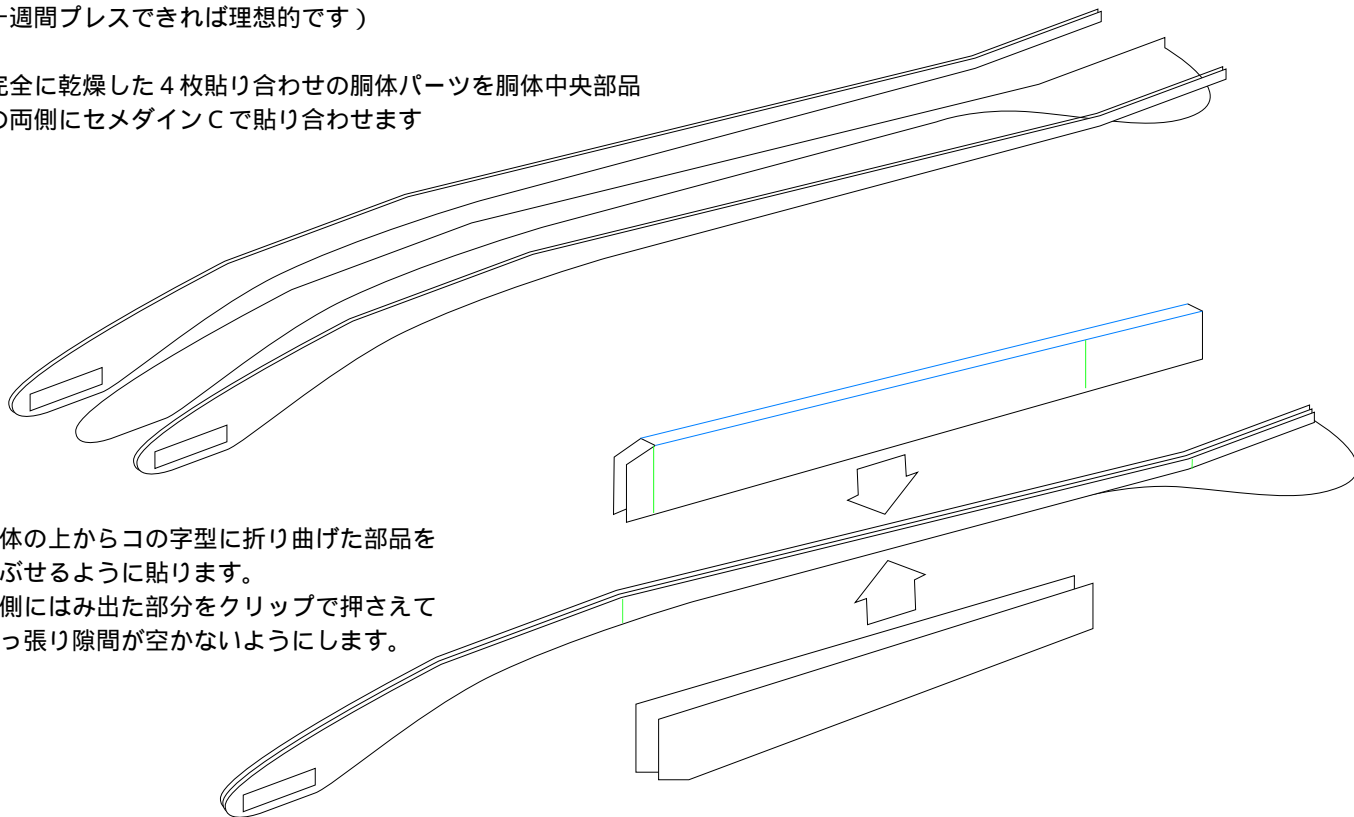
- 1、青線の印刷面、ピンクの裏面にカッターなどで折筋を付けて 青線を「山折り」、ピンクを「谷折り」にしてジャバラ状にする。木工用ボンド または タイトボンドの原液を2、水を1の割合で薄めたものを下の面から順に指先で紙にすり込むように塗り貼り合わせて行く。（接着剤は表面が乾かないようにたっぷりを使う）
「一面塗ったらプレス」を3回繰り返す。はみ出した接着剤はティッシュ等でこまめにふき取る。
4枚貼り合わせができたなら平らな板などで挟んでプレスする。
30分ほどプレスしたらカッターで切り出す。（紙が湿っているので簡単にカットできます）
最初に直線部分を ステンレスの定規をしっかりと当て、カッターはあまり力を加えずに何回かに分けて切り出す。カッターに力を入れすぎると裏面にバリが出やすくなります。直線部分が終わったら曲線部分をフリーハンドで切って行きます。
4枚貼り合わせの胴体パーツが2個できあがります。

再度、平らな板でプレスして1日以上置きます。

紙の水分が完全に抜けるまでプレスして置くと丈夫な胴体を作ることができます。

（一週間プレスできれば理想的です）

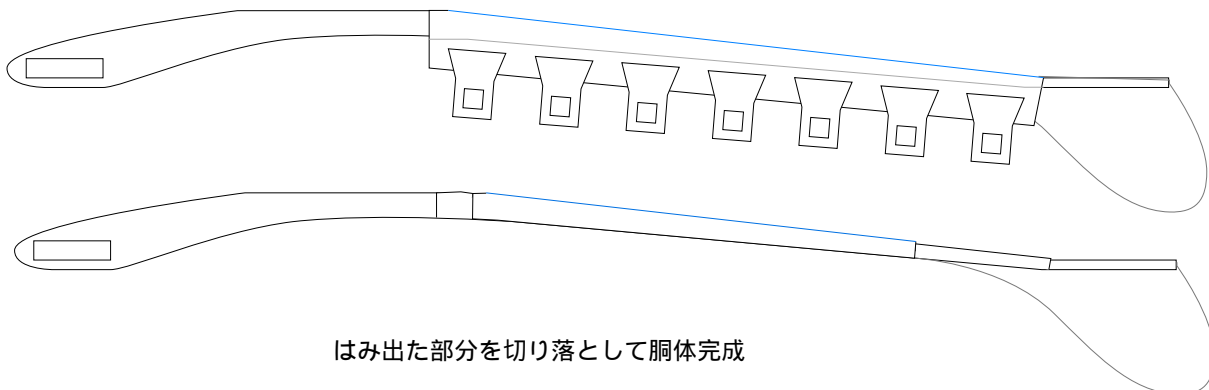
- 2、完全に乾燥した4枚貼り合わせの胴体パーツを胴体中央部品の両側にセメダインCで貼り合わせます



- 3、胴体の上からコの字型に折り曲げた部品をかぶせるように貼ります。
下側にはみ出た部分をクリップで押さえて引っ張り隙間が空かないようにします。

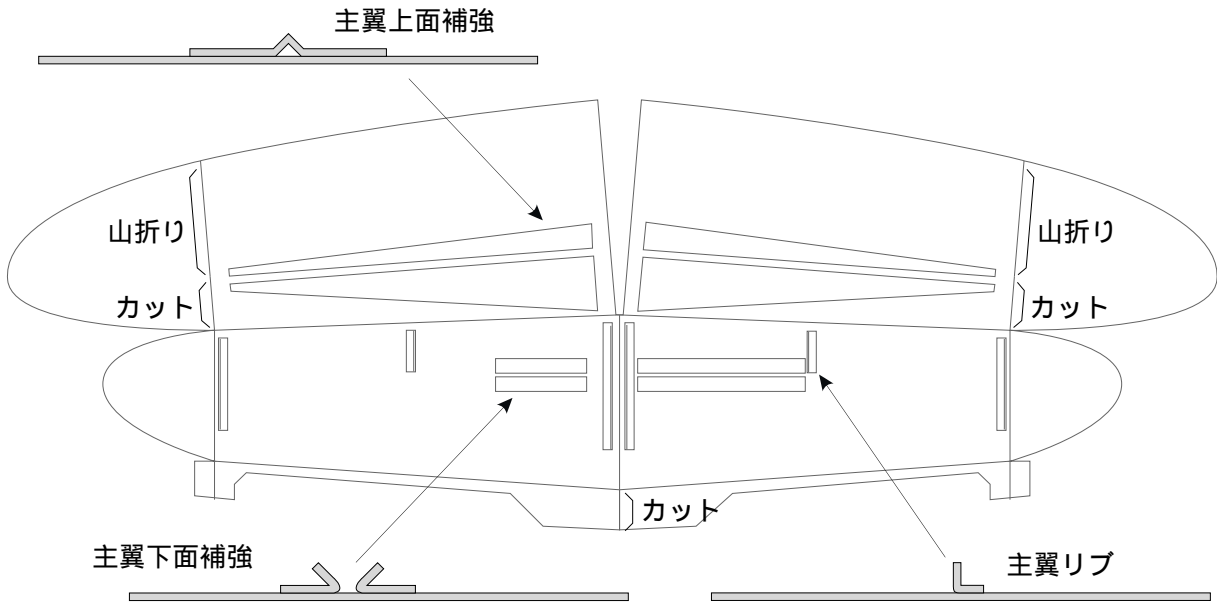
4、接着剤が半乾きになったら平らな板などで左右からプレスして乾燥させます。

- 5、接着剤が固まったら胴体下側のはみ出た部分をカッターなどで切り取り、もう一枚のコの字型部品を同様の方法で下側からかぶせて接着します。



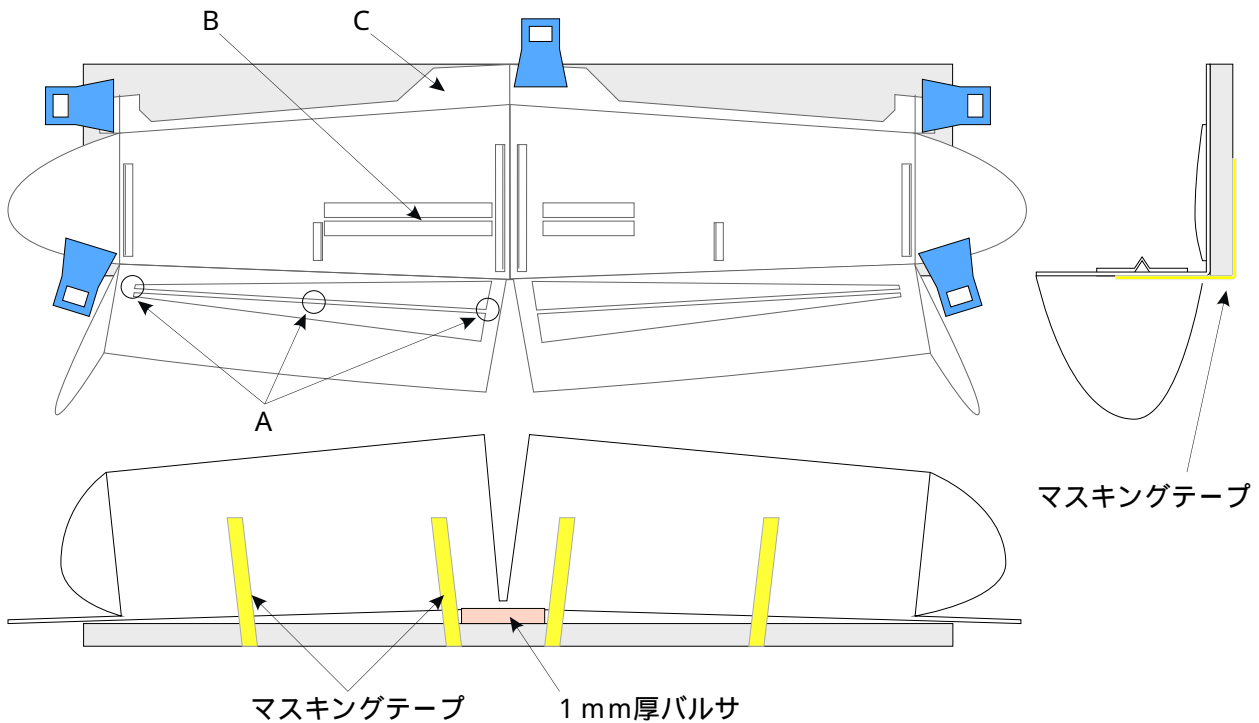
はみ出た部分を切り落として胴体完成

- 6、主翼部分を切り出したら 青とピンクのラインに折り筋を付けて一度折り曲げてから再度平らにしておきます。主翼補強板とリブを緑の線に合わせて貼り付けます。主翼下面補強は長い方を投げる際に指を掛ける側に貼ります。リブは小さな丸印のある方が前縁側となります。主翼補強板はスティック糊を接着する両面に塗ります。また、リブの接着にはセメダインCが良いでしょう。

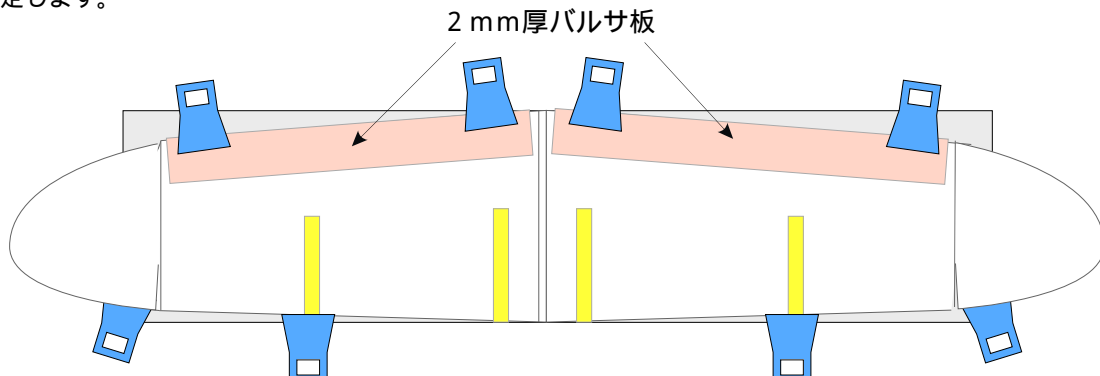


- 7、幅6cm長さ23cmの板の上に主翼を5箇所クリップで固定します。前縁部中央に厚さ1mm 2cm角のバルサ板を挟んで前縁部が浮き上がらないように5mm幅のマスキングテープで固定します。これにより僅かな「捻り下げ」を作り出します。

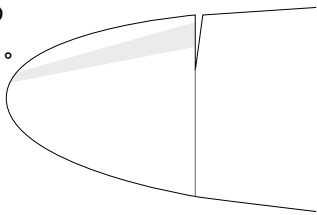
- 8、Aのリブと交差する部分にはセメダインCを一滴ずつ垂らします。BのV字状の溝にはセメダインCを糸状に流し込みます。



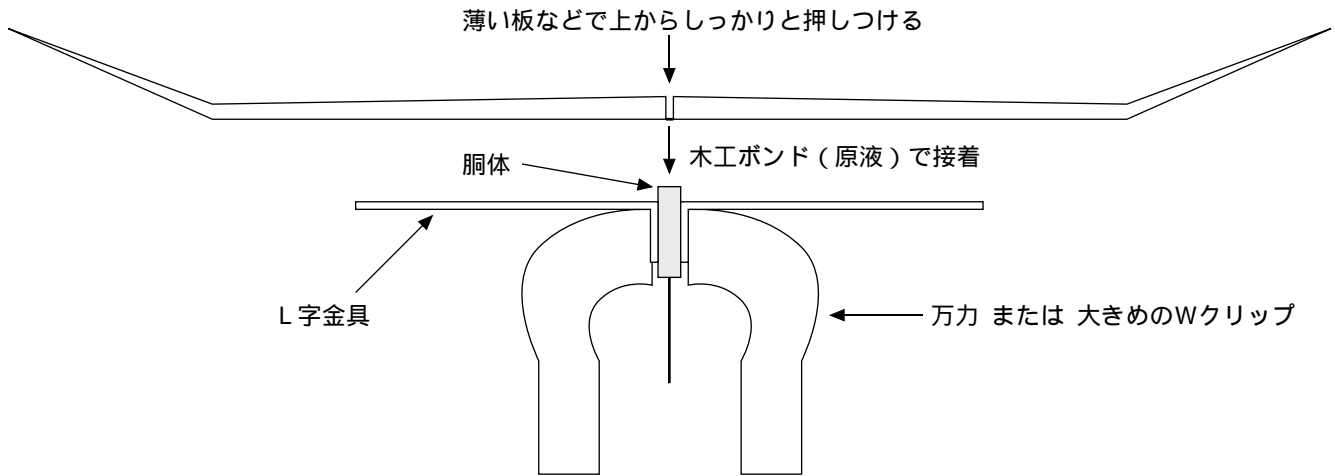
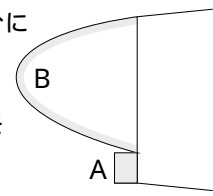
- 9、C部分に木工用ボンドを塗り、主翼上面を折り返し リブとの隙間が空かないように上面を後ろに引っ張りながら貼り合わせます。上下を貼り合わせたら Cの接着部分の上に幅1.5cm長さ10cmのバルサ板を乗せてクリップで固定します。



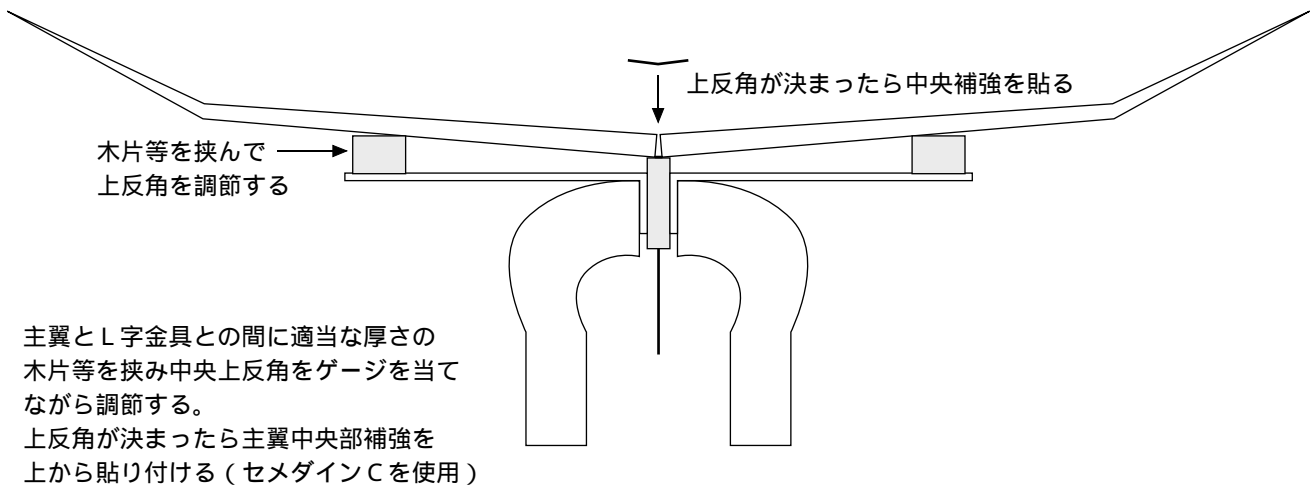
翼端上側は右図の灰色の部分を良くしごいておく。



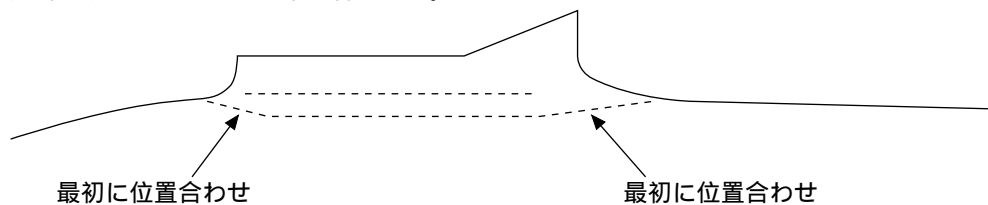
翼端下側は右図のAの灰色部分に木工用ボンドを塗り、上反角ゲージを当てながら接着する。その後B部分の周辺にボンドを塗り上側と接着する。



胴体を二枚のL字金具と一緒に万力 または 大きめのWクリップで固定する。 胴体の上の部分が1~2mm程度飛び出るようにする。 また、二枚のL金具は左右段違いにならないように調節しておく。胴体の上の面に木工ボンド(原液)を細く線状に塗り主翼を乗せる。主翼中央の隙間に薄い板を差し込み1分間ほど押さえつけると隙間なく接着される。



水平尾翼も同様の方法で木工用ボンドを用いて取り付けます。



機首にオモリを詰め込んだら最後に主翼下面補強を貼り付けます。図の点線部分を45°づつに谷折りしてセメダインCをたっぷりと塗ります。図の矢印で示した部分を最初に位置決めてクリップ等で固定します。胴体部、主翼下面と軽く押しつけながら接着します。主翼前後にはみ出した部分はピンセット等で押さえて上下に隙間ができないようにします。

内蔵したオモリの量ではおそらく重心位置が後ろ目になっていると思われます。また、重心位置マークもあくまで「目安」として考えて下さい。投げ手の初速、発進角度 等により調節して下さい。

スティックのりは、「ボンドハイスティック木工用」または「トンボ ピットハイパワー」などが向いています